

## 令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果について

6年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査について、本校の結果等についてその概略をお知らせします。本校では、本調査により測定できるのは子どもたちが身に付けるべき学力の特定の一部分であり、教育活動の一側面に過ぎないことを踏まえながらも、これまでの指導との関連を図りつつ今後の指導に生かしていきたいと考えています。

### ◆学力の概観

以前は、国語・算数ともにA問題(知識を問う問題)とB問題(活用を問う問題)に分かれていましたが、

令和元年度からA問題とB問題が統合され、知識・活用を一体的に問う調査問題となっています。

(1) **国語における本校の結果は、全道平均正答率と全国平均正答率のどちらも上回りました。**国語における基礎的・基本的な学習事項が定着しています。特に、「話すこと・聞くこと」と「言葉の特徴や使い方に関する事項」に十分な成果が見られました。

(2) **算数における本校の結果は、全道平均正答率と全国平均正答率のどちらも上回りました。**算数においても基礎的・基本的な学習事項が定着しています。特に、「数と計算」「測定」に十分な成果が見られました。

(3) 児童質問紙では、「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について家の人と約束したことを守っている」「学校に行くのは楽しい」「自分と違う意見について考えるのは楽しい」の質問には、全道・全国平均より「あてはまる」と答えた児童の割合が高い結果となりました。「毎日同じくらの時刻に寝る」「自分にはよいところがある」「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦する」の質問には、全道・全国平均より「あてはまる」と答えた児童の割合が低い結果となりました。

### ◆今後本校として大切にしている視点

これらの結果を受け、今後も学校では以下の視点を大切にしていきたいと考えます。

- ・基礎的・基本的な知識・技能の習得については、学ぶ楽しさを味わわせながら、繰り返し学習や体験的活動を重視するなど、発達や学年の段階に応じて習得させ、学習の基盤を育てていきます。
- ・自分の考えや思いをまとめ、説明できるように指導を継続します。
- ・保護者の理解・協力のもと、自学自習の態度や学習習慣の確立・学習意欲の向上に努めていきます。
- ・自己有用感を高める指導を継続して取り組みます。

## 児童質問紙の結果から

以前に全国学力・学習状況調査の学力面の結果をお知らせしましたが、今回は児童質問紙の結果をお知らせします。児童質問紙では、児童の学習の様子や生活の習慣などの様子について、光南小学校の様子と全国を比べて記載しています。お子さんと他のお子さんとの生活や意識の違いを確認してみたいかどうかでしょうか。

	質問項目	光南小学校	全国
自己 ・ 規範	・自分にはよいところがあると思う	67.8%	76.9%
	・将来の夢や目標をもっている。	84.7%	80.3%
	・人の役に立つ人間になりたいと思う	96.7%	95.5%
	・人が困っているときは、進んで助けている。	89.8%	88.7%
	・いじめはどんな理由でもいけない	98.3%	96.8%
生活 習 慣	・授業以外に、普段1日あたり1時間以上勉強する。	25.5%	62.5%
	・休日1日あたり1時間以上勉強する。	32.2%	61.0%
	・授業以外に、普段1日あたり1時間以上読書する	27.1%	18.2%
	・家で自分で計画を立てて勉強している。	64.4%	74.0%
	・平日1日あたり2時間以上ゲームをしている。	62.7%	49.4%
	・朝食を毎日食べていますか	98.3%	94.9%
学 習 へ の 意 欲	・学校に行くのは楽しい。	88.1%	83.4%
	・算数の勉強が好き。	57.6%	67.8%
	・算数の授業の内容はよくわかる。	88.2%	84.6%
	・国語の勉強は好きですか。	66.1%	58.5%
	・国語の授業内容はよくわかりますか。	91.6%	84.2%
	・学習の中で ICT 機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。	98.3%	94.5%

### ◎児童質問紙を通して

光南小学校の児童の傾向として、規範意識が高く、学習への意欲が高いです。学力の高さはこういった意識や心理面の安定も要因の一つと考えられます。

特筆すべきは家庭での学習時間が全国に比べ大幅に低いことです。家庭学習の目安としては、1、2年生 20～30分、3、4年生 30～40分、5、6年生 50～60分程度となっています。それに近づくことで、まだまだ学習面での伸びが期待できます。

また、ゲームをしている時間もかなり長い傾向にあります。中学へ向け、学習習慣の定着という面では不安が残る結果となっています。これからはゲームの時間を学習の時間に少しでも振り替えていくことで、中学～高校受験へ向けて、家庭での学習習慣を定着させるような声掛けをお願いします。今後も子どもたちの成長につなげられるよう、全教職員一丸となって授業改善を図っていきたいと思います。